

# 競技規則

本規則の運用に関する一切の事項は、競技委員会（以下、委員会という）に於いて決定する。

1. 競技参加資格者は、当クラブの登録メンバーに限定する。三大競技においては、年始の時点（1月1日）でのホームコース指定者に限定する。
2. 競技は参加申込者が16名に満たない場合は不成立とする。（委員会が決定した場合はこの限りではない）
3. 携帯電話のコース内での使用を禁止する。但し、事故等の場合はこの限りではない。
4. 競技参加資格は次の通りとする。
  - 1) クラブ選手権競技はコースハンディキャップ15迄の者。但し、シニア・Mシニア・Gシニア・レディース選手権はハンディキャップ取得者とし、制限は設けない。
  - 2) 理事長杯及び鹿北カップはコースハンディキャップ15迄の者。但し、16以上の者は15として参加できる。
  - 3) 月例杯のクラス分けは次の通りとする。

Aクラス	コースハンディキャップ	～13
Bクラス	コースハンディキャップ	14～

レディース HDCP 取得者  
平日月例杯においてはクラス分けをしない。  
月例杯においては、各組に1名「ルール&マナーリーダー」を設置するものとする。
  - 4) その他の競技は、ハンディキャップインデックス男性54.0迄、女性54.0迄とする。但し、ハンディキャップを有しない者の入賞は認めない。
  - 5) 予選を伴う競技は予選当日のハンディキャップを最終戦まで適用する。
  - 6) シニア競技は満55歳以上とする。Mシニア競技は満65歳以上とする。Gシニア競技は満70歳以上とする

5. 競技申込み受付は、競技日の1ヶ月前からとする。但し、予定人数に達した場合は申込みを締切ることがある。（締切りは10日前迄）
6. スタート及び組合せに関すること。
  - 1) スタート組合せ及び時刻を指定する競技の場合、委員会の組合せ及びその通告された時刻に従いスタートしなければならない。
  - 2) 競技参加者は、スタート時刻の5分前迄にスターティングホールのティイングエリアに到着すること。
  - 3) スタート後、前組との間隔を1ホール以上空けた場合は、その組全員に2ペナルティーを課することができる。
  - 4) 18ホールの競技に於いて、9ホール終了後、食事を取る為にプレーを中断することができる。また、競技委員は進行上の理由から、続けてプレーさせることができる。
7. 各競技に於いてタイとなった場合、次により順位を決定する。
  - 1) アンダーハンディのストローク競技の場合。
    - (1) コースハンディキャップ上位者
    - (2) 年長者
  - 2) スクラッチストロークによる競技の場合、委員会の指定するホールを使用し、優勝者のみサドンデス方式により決定する。その他はマッチング方式により決定する。
  - 3) マッチプレーの組合せに於いて、最下位を決める場合を除き、同成績の者の順位はスコアカードを先に提出した者を上位とし、スコアカードの提出順に決めにくい場合はくじ引きとする。
  - 4) 予選通過者最下位を決定する場合はすべてくじ引きとし、不在者は権利がないものとする。

8. 入賞について。
  - 1) 総てのアンダーハンディ競技に参加する者は、その前日から遡り60日以内に、当クラブのスコアカードが1枚以上提出されていない場合は入賞を認めない。尚、予選競技の場合、決勝進出を認めない。
  - 2) 前号の規定は、クラブ選手権・シニア選手権・ミッドシニア選手権・グランドシニア選手権・レディース選手権・開場記念杯の競技については適用しない。
  - 3) 他クラブをホームコースとする者で、ハンディキャップインデックスに変更があった場合には当倶楽部のハンディキャップ委員会に文書で直ちに通知しなければならない。通知なく競技に参加した場合は、入賞を認めない。
  - 4) 競技参加者は、必ずスコアカードをリターンすること。これを怠った場合は失格とし、事後3ヶ月間の入賞資格を失う。但し、委員会がやむを得ないと認めた場合はこの限りではない。
9. 不適合クラブについては、公式競技での使用は一切認めない。
10. 委員会が特別に指定する競技については、その組に先行権を与えるものとする。
11. 競技参加者のカートは、赤旗等の目印を着用する。
12. 競技は天候等によりやむを得ない時は、委員会の決定により中止又は延期することがある。
13. 競技中の疑義については、委員長又は、委員長の指名する者が裁定する。
14. 本規則によるも尚、疑義ある事項については、委員の協議に基づき委員長が裁定する。
15. 競技はすべて本規則及び、ローカル・ルール並びにJGA規則のルールによる。

## ローカル・ルール

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭にて標示する。
2. 修理地は青杭又は白線にてその限界を標示する。
3. ジェネラルエリアにおける砂箱・腰掛・水道栓・排水溝（U字溝も含む）・ネット・カート道路（カート道路に隣接する排水溝はカート道路の一部とみなす）・支柱・ヤード杭及びヤード樹等は、規則第 24 条「動かせない障害物」とする。
4. 全ホールに於いて、第 1 打が OB の場合は、前方特設ティ（黄色）よりプレーイング 4 として打たなければならない。2 打目以降の OB については打ち直しとする。但し、委員会が特別に指定する競技については、この限りではない。
5. コース内に於いては全ての練習ストロークを禁止する。
6. グリーン上ではパター以外のクラブは使用禁止とするが、パターが損傷した場合はアイアン以外使用可とする。
7. バンカー内の流水跡に球が止まった場合は、罰なしに元の位置に出来るだけ近い場所に基点を設けて救済エリア内にドロップする事が出来る。スタンスが掛かる場合も同様とする。
8. ジェネラルエリア内において、異常なコース状態の中にプレーヤーの球がある又は、ストロークに影響を及ぼす状態、並びにスタンスが掛かる場合は、罰なしにニヤレスポイントの救済エリア内からプレーすることができる。
9. カート道路、又は排水溝から掘られた溝又は流水跡、及びカート道路に接するベアグラウンドは「修理地」とする。
10. 臨時のローカルルールは、マスター室前に掲示する。
11. 上記以外は総て JGA 競技規則に従う。

## エチケット&マナー

1. スタート組合せ表は、予約時間の 20 分前までに提出して下さい。提出が遅れますと予約時間にスタートできない事もあります。
2. プレーヤーがアドレス及びストロークを行う間は他の者は動いたり話したり、またプレーの線の前後に立ったりしてはならない。
3. スロープレーは他のお客様にご迷惑をかけます。ハーフ 2 時間以内を目安にしましょう。
4. プレーヤーは前方の組が球のとどく 距離の外に出るまでは球を打ってはならない。
5. プレーヤーは、コースに於いて切り取った芝を直ちに元のところに置き、よく踏み付けておかなければならない。
6. プレーヤーはバンカーを出る前にそこで作ったすべての穴を入念に直しておかなければならない。
7. 当コースではベントグリーンの為、スパイクによる引っかき傷に気をつけましょう。又、グリーンのボールマークについては、入念にプレーヤーが直すように心がけて下さい。
8. 1 ホールのプレーが終わったならばプレーヤーはすみやかにグリーンから出る事。
9. 煙草の吸いがらや紙屑は必ず所定の入れ物に入れる事。

※ **安全確認と他のプレーヤーに対しての配慮を忘れずに楽しいプレーを・・・**